

平成21年5月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成20年9月16日

上場会社名 株式会社くろがねや
 コード番号 9855 URL <http://www.kuroganeya.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀込 丹
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役(管理担当) (氏名) 川崎 謹五
 四半期報告書提出予定日 平成20年9月26日

上場取引所 東

TEL 055-241-2472

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年5月期第1四半期の業績(平成20年5月16日～平成20年8月15日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年5月期第1四半期	4,089		65		70		52	
20年5月期第1四半期	3,955	1.2	206	31.4	212	29.7	119	34.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年5月期第1四半期	4.86	
20年5月期第1四半期	10.85	10.82

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	%	
21年5月期第1四半期	14,970		8,291		55.4	773.10		
20年5月期	15,107		8,323		55.1	776.06		

(参考) 自己資本 21年5月期第1四半期 8,291百万円 20年5月期 8,323百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年5月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年5月期		7.00		7.00	14.00
21年5月期(予想)		7.00		7.00	14.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年5月期の業績予想(平成20年5月16日～平成21年5月15日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	8,234		258		271		162		14.61
通期	18,210	7.6	724	22.8	744	21.1	445	80.3	40.04

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、2ページ[定性的情報・財務諸表等] 4.その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等)の変更に記載されるもの

会計基準等の改正に伴う変更 有
以外の変更 無

(注)詳細は、2ページ[定性的情報・財務諸表等] 4.その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年5月期第1四半期	11,581,205株	20年5月期	11,581,205株
期末自己株式数	21年5月期第1四半期	855,869株	20年5月期	855,464株
期中平均株式数(四半期累計期間)	21年5月期第1四半期	10,725,476株	20年5月期第1四半期	10,992,921株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

2. 業績予想値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、原油価格及び原材料価格の高騰による消費者物価の上昇やサブプライムローン問題等により、景気の減速感が強まる状況にありました。

小売業界におきましても、上記の消費者物価の上昇が消費マインドに与える影響は少なくなく、売上高の増加が期待できない状況が続いております。

このような状況のもと当社では、品揃えの充実や売場構成の変更等を行い、売上増加を図るとともに、店舗マネージメントの標準化や自動発注システムの精度向上により、経費削減に努めてまいりました。しかしながら、利益面におきましては、「棚卸資産の評価に関する会計基準」が適用されたことによる売上原価の増加、仕入原価の上昇及び出店に伴う販管費の増加等により、前年同期を上回ることができませんでした。

これらの結果、売上高は40億89百万円となり、増収となりましたが、営業利益は65百万円、経常利益は70百万円、四半期純利益は52百万円となり、減益となりました。

なお、当第1四半期には開店、閉店とも行いませんでしたので、当第1四半期末における店舗数は、山梨県に13店舗、神奈川県に6店舗及び東京都に1店舗で、合計20店舗、また、当第1四半期末の売場面積は62,923㎡となっております。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は、149億70百万円となり、前事業年度末と比較し1億36百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産の増加等に対し、現金及び預金等の減少や商品の減少等によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は1億5百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益97百万円、減価償却費89百万円、たな卸資産の減少額1億46百万円等の収入に対し、仕入債務の減少額1億2百万円、法人税等の支払額1億5百万円等の支出があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は68百万円となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入1億4百万円等の収入に対し、有形固定資産の取得による支出2億7百万円等の支出があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は1億24百万円となりました。これは主に、短期借入れによる収入6億円、長期借入れによる収入1億円等の収入に対し、短期借入金の返済による支出6億円、長期借入金の返済による支出1億65百万円、配当金の支払額58百万円等の支出があったことによるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、当第1四半期の業績が想定した範囲内で推移しているため、見直しを変更しておりません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

棚卸資産の評価方法

当第1四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

②通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、売価還元法による原価法によっておりましたが、当第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、売価還元法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これにより、従来の方法によった場合に比べて、売上総利益、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益は、それぞれ14,026千円減少しております。

5. 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年8月15日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年5月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	460,216	547,199
売掛金	67,081	63,308
商品	3,353,966	3,499,924
その他	221,084	257,569
貸倒引当金	△109	△92
流動資産合計	4,102,239	4,367,910
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,738,474	3,961,065
土地	3,915,491	3,915,491
その他	1,137,127	752,581
有形固定資産合計	8,791,093	8,629,138
無形固定資産		
198,420	198,420	199,601
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,553,496	1,580,948
その他	344,796	349,068
貸倒引当金	△19,379	△19,077
投資その他の資産合計	1,878,914	1,910,938
固定資産合計	10,868,428	10,739,678
資産合計	14,970,668	15,107,589
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,804,252	2,906,430
短期借入金	1,935,000	2,020,000
賞与引当金	27,004	
役員賞与引当金	5,440	21,540
未払法人税等	41,332	121,003
その他	664,982	457,424
流動負債合計	5,478,011	5,526,398
固定負債		
長期借入金	600,000	580,000
退職給付引当金	34,971	35,619
その他	565,903	641,712
固定負債合計	1,200,875	1,257,331
負債合計	6,678,886	6,783,730
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,411,649	2,411,649
資本剰余金	2,466,075	2,466,074
利益剰余金	3,716,508	3,739,381
自己株式	△311,082	△310,928
株主資本合計	8,283,150	8,306,176
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,631	17,682
評価・換算差額等合計	8,631	17,682
純資産合計	8,291,782	8,323,859
負債純資産合計	14,970,668	15,107,589

(2) 【四半期損益計算書】

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成20年5月16日 至平成20年8月15日)
売上高	4,089,924
売上原価	2,965,854
売上総利益	1,124,069
販売費及び一般管理費	1,058,916
営業利益	65,153
営業外収益	
受取利息	468
受取配当金	1,113
受取事務手数料	8,827
その他	3,019
営業外収益合計	13,428
営業外費用	
支払利息	7,456
その他	742
営業外費用合計	8,199
経常利益	70,382
特別利益	
預り保証金解約益	109,499
特別利益合計	109,499
特別損失	
投資有価証券評価損	2,673
減損損失	80,201
特別損失合計	82,874
税引前四半期純利益	97,007
法人税、住民税及び事業税	31,561
法人税等調整額	13,237
四半期純利益	52,207

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成20年5月16日 至平成20年8月15日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	97,007
減価償却費	89,547
減損損失	80,201
賞与引当金の増減額 (△は減少)	27,004
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	319
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△647
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△16,100
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△96,257
預り保証金解約益	△109,499
受取利息及び受取配当金	△1,582
支払利息	7,456
投資有価証券評価損益 (△は益)	2,673
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,772
たな卸資産の増減額 (△は増加)	146,458
その他の資産の増減額 (△は増加)	869
仕入債務の増減額 (△は減少)	△102,178
未払消費税等の増減額 (△は減少)	43,006
その他	52,908
小計	217,413
利息及び配当金の受取額	1,582
利息の支払額	△7,426
法人税等の支払額	△105,698
営業活動によるキャッシュ・フロー	105,870
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△207,337
有形固定資産の売却による収入	104,582
投資有価証券の取得による支出	△6,252
敷金及び保証金の差入による支出	△979
敷金及び保証金の回収による収入	28,430
その他	12,721
投資活動によるキャッシュ・フロー	△68,835
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	600,000
短期借入金の返済による支出	△600,000
長期借入れによる収入	100,000
長期借入金の返済による支出	△165,000
自己株式の増減額 (△は増加)	△153
配当金の支払額	△58,870
財務活動によるキャッシュ・フロー	△124,024
現金及び現金同等物に係る換算差額	5
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△86,983
現金及び現金同等物の期首残高	547,199
現金及び現金同等物の四半期末残高	460,216

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

前第1四半期累計期間 (平成19年5月16日～8月15日)

科目	前年同四半期 (平成20年5月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	3,955,468
II 売上原価	2,837,315
売上総利益	1,118,153
III 販売費及び一般管理費	911,908
営業利益	206,244
IV 営業外収益	12,256
V 営業外費用	6,275
経常利益	212,225
VI 特別損失	6,689
税引前四半期純利益	205,536
税金費用	85,731
四半期純利益	119,804

(2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期累計期間 (平成19年5月16日～8月15日)

	前年同四半期 (平成20年5月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	205,536
減価償却費	94,056
貸倒引当金の増加額	△50
退職給付引当金の増加額	325
役員賞与引当金の増加額	△27,675
受取利息及び受取配当金	△1,304
支払利息	5,037
投資事業組合運用損	18
投資有価証券売却益	△2,585
投資有価証券売却損	1,111
投資有価証券評価損	1,789
売上債権の減少額	2,518
たな卸資産の減少額	△34,720
その他の資産の減少額	△7,098
仕入債務の増加額	175,853
未払消費税等の増加額	△44,845
その他	△67,556
小計	300,410
利息及び配当金の受取額	1,304
利息の支払額	△7,133
法人税等の支払額	△166,236
営業活動によるキャッシュ・フロー	128,345
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△149,660
投資有価証券の取得による支出	△79,523
投資有価証券の売却による収入	41,100
敷金保証金の差入による支出	△167
敷金保証金の返還による収入	21,878
その他	△1,298
投資活動によるキャッシュ・フロー	△167,670
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入による収入	400,000
短期借入金の返済による支出	△1,000,000
長期借入による収入	700,000
長期借入金の返済による支出	△130,000
自己株式の取得及び売却による支出	△38
配当金の支払額	△50,417
財務活動によるキャッシュ・フロー	△80,455
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△5
V 現金及び現金同等物の増加額 (又は減少額)	△119,786
VI 現金及び現金同等物の期首残高	795,849
VII 現金及び現金同等物の期末残高	676,063

6. 売上高の状況

(1) 商品別売上高

(単位：千円 千円未満切捨て)

	当四半期 (平成21年5月期 第1四半期)		前年同四半期 (平成20年5月期 第1四半期)		対前年 同期比	(参考) 平成20年5月期	
	売上高	構成比	売上高	構成比		売上高	構成比
		%		%	%		%
ダイニング用品	471,578	11.5	465,405	11.8	101.3	1,980,963	11.7
ホームファニッシング用品	289,227	7.1	276,839	7.0	104.5	1,181,948	7.0
デイリー用品	758,149	18.5	773,935	19.6	98.0	2,967,046	17.5
シーゾナル用品	259,630	6.3	209,661	5.3	123.8	1,625,305	9.6
園芸・ペット用品	1,083,314	26.5	1,048,271	26.5	103.3	3,876,001	22.9
カルチャー用品	202,916	5.0	216,662	5.5	93.7	975,181	5.8
その他用品	906,803	22.2	857,201	21.6	105.8	3,887,001	23.0
商品売上高計	3,971,621	97.1	3,847,976	97.3	103.2	16,493,447	97.5
不動産賃貸収入	118,303	2.9	107,492	2.7	110.1	431,930	2.5
合計	4,089,924	100.0	3,955,468	100.0	103.4	16,925,378	100.0

(注) 1. 商品別の各構成内容は、次のとおりであります。

- (1) ダイニング用品 (台所用品・調理小物)
- (2) ホームファニッシング用品 (家具・インテリア用品)
- (3) デイリー用品 (家庭用品・日用雑貨)
- (4) シーズナル用品 (季節品)
- (5) 園芸・ペット用品 (園芸用品・ペット用品)
- (6) カルチャー用品 (文具用品・おもちゃ等)
- (7) その他用品 (日曜大工用品・はきもの・カー用品・その他)

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 地区別商品売上高

(単位：千円 千円未満切捨て)

	当四半期 (平成21年5月期 第1四半期)		前年同四半期 (平成20年5月期 第1四半期)		対前年 同期比	(参考) 平成20年5月期	
	売上高	構成比	売上高	構成比		売上高	構成比
		%		%	%		%
山梨県	2,126,054	53.5	2,150,209	55.9	98.9	8,743,661	53.0
神奈川県	1,333,288	33.6	1,228,238	31.9	108.6	5,821,705	35.3
東京都	512,278	12.9	469,528	12.2	109.1	1,928,079	11.7
商品売上高合計	3,971,621	100.0	3,847,976	100.0	103.2	16,493,447	100.0

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。